

平成27年6月4日(木)5日(金) 総務企画常任委員会所管事項質疑

1 職員提案制度について質疑を行う

○質疑内容

この制度は、県職員の主体的執行意識の醸成及び政策立案能力の向上を目的に実施している。そこで、平成26年度提案数実績と採用実績を確認。更に、提案数増加のため取組んでいる内容や、提案者の報償・人事考課について伺う。

○答弁内容

提案数は205件。採用実績は6件一部を見直して採用3件となっている。提案数は、知事部局職員に占める割合として5%程度と低いため、提案テーマを具体的に設定することやテーマ内容を増やしたいと考えている。報償については、企画部長賞や業績職員表彰など行っている。人事考課については、職務に関する評価になつていているため、考課対象になつていません。

一大和から要望として、この制度の主旨は、いわゆる縦割り組織の発想から脱皮し、全庁的な視点の提案を目的としているのだから人事考課については、検討していく頂きたいと伝えました。

2 県工業団地について質疑行う

○質疑内容

2014年工場立地動向調査で、本県は立地件数で全国2位、立地面積7位となっているが、一部新聞では用地不足を心配する報道もあります。そこで、現在の工業団地の在庫面積と、ここ5年間の売却面積の推移。また、今後の造成予定と面積について伺う。地18haを含め52ha。5年間の売却面積は、約55haとなっている。今後の県工業団地として28年度は、宮郷工業団地20haを含め

24.8ha。29年度は、約11haとなつており、一ヶ月事業化に向けて準備をしている。
感想..県内の工業団地は、県事業以外に市町事業の物件もある。全県の工業団地面積の推移を考慮し、需要と供給(不良在庫を持たない群馬づくりのため企業誘致に取り組む必要を痛感した。

3 県広報紙「ぐんま広報」について質疑を行う

○質疑内容

現在、毎月第一日曜日に新聞折り込みをしている『ぐんま広報』だが、県内隅々まで届け、更に、今まで以上に読んで頂けるような取組が必要と感じる。そこで、まず現状の折り込み部数や一枚当たりの単価、並びに折り込み代、またその折り込み代を原資として、市町村の自治会(行政区)に配布をお願いする考え方や、新聞未購読者向けにスマートフォンによる配信の導入の考え方について伺う。

○答弁内容

配布部数は682,500部で、各世帯到達率は88%。一冊当たり単価は、8ページで3.5円。栃木県は4ページ主体で2.4円。茨城県は8ページ主体で4円となつていて。1回当たり新聞折り込み代は581万円。年間6972万円。市町村広報紙配布との連動については、平成7年までは年6回のぐんま広報の配布をしており、自治体(行政区)単位にお願いをしていたが、迅速性・自治会離れ・自治会の負担軽減の観点から、現状の折り込みに変更した。スマートフォンによる配信については、新聞離れなど考慮すると有効な方法の一つであるが、肖像権の問題などクリアする課題があるので研究したい。

*以上の内容は、音源から起こしていますので若干相違がある場合には御容赦下さい。

○その他質疑

冊子『ぐんまがいちばん』の活用について。職員採用(インターナシップ制度の詳細・地域創生コース活用の考え方)について。

平成27年6月9日(火) 観光・世界遺産特別委員会所管事項質疑

1 田島弥平旧宅周辺道路案内標識について質疑を行う

○質疑内容

旧宅周辺は、市境・県境が混在しており、群馬県道42号世良田信号、埼玉県道45号滝瀬信号付近及び国道17号バイパスおかげ道の駅付近に、案内標識を県からの働きかけで、設置する考え方について伺う。

○質疑内容

再度現状を確認し、検討したい。

絹文化継承5校参加

小中学校旗作りや地域調査



最近の活動

大和歓が世界遺産課に質疑した、絹文化承継プロジェクトについて、翌日の上毛新聞(6月5日金)P20に掲載されました。



《やまといさおで検索》 *インターネットのお気に入りに登録ください

大和歓

検索

お知らせ・日頃の活動・研修報告などの詳しい内容が、掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.isao-y.net/>

大和いさお事務所 〒372-0831 伊勢崎市山王町1142-6(あすなろ館児童クラブ内)
TEL 23-7797 FAX 27-5260 メールアドレス asunarokan@seagreen.ocn.ne.jp